

ニコニコ箱

木村さん、卓話ありがとうございます。(荻原昭人)  
 本日卓話をさせていただきます。(木村憲一)  
 宮崎バスターナー、菅原バスターン会長、在籍50年おめでとうございます。(淡島智子)  
 もう、ほとんど忘れています。木村地区情報委員長お世話様です。(清水慶造)  
 ローターリーに加入して53年になります。皆様のご支援の賜物です。ありがとうございます。(菅原将高)  
 ローターリー会員歴50年を超えて。(健康であることが最も大切です)(宮崎茂和)  
 本日も多くの寄付金ありがとうございました。(柳町剛弘)  
 瀬越智和  
 【誕生日御祝】 専田武志  
 【配偶者誕生日御祝】 浮田慎太郎

各君

米山奨学特別寄付金

石橋正人・市橋信孝・加藤幹夫・英 貴子・細江 究  
 平野さん、次年度ガバナーノミネーテグジネートの推薦おめでとうございます。クラブ全体で応援しましょう。(玉木 洋)  
 少しでもお役に立てれば嬉しいです。(長野 学)  
 米山梅吉さんのファンです。(平野洋一)  
 熱心な英会員と同居させていただいたので。(村中洋祐)  
 各君

炉辺会談 テーマ「持続可能な組織運営の構築」(今年度荻原会長方針)

【開催日時】 2023年3月17日(金) 18:30～ 【開催場所】 萬會  
 【参加者】 (座長)清川 卓二(世話役)浅井 正勝  
 菅原 将高、林 正岳、清水 正一、前川 小百合、嘉屋 次郎、片岡 正明、渡辺 崇嗣 計9名

- ☆ 現在の福井クラブは構成メンバーのバランスが良い。
- ☆ コロナ禍で会員減少すると予想したが、実際は増えた。クラブに魅力があるから現実として増えているのだろう。
- ☆ 古きロータリー(伝統、厳格性等)の考え・ピリピリとした雰囲気と比べると、現在はざっくばらんな雰囲気に感じるが、変化するロータリーの中で、新旧ミックスし、福井クラブ独自の特徴を作っていくことが大切。
- ☆ 会員も順調に増え、140人規模となっており財政は余裕がある。一方で奉仕事業が少なく、繰越金が溜まっていく一方のため、一定割合を寄付する仕組みを作る等、奉仕事業を活発に展開していくべきである。
- ☆ 国際大会に参加するといろんな人種を目の当たりにし、ダイナミックに世界が動いていること実感できる。地区大会等、ロータリー事業に積極的に参加することが持続可能なクラブに繋がる。
- ☆ 他団体、どうやって存続していくかを考えるのが精一杯、ともすると質が落ちていくこともある中、会員交流、クラブ活動を通じ、充実して質の高いクラブ(良い意味での特別なクラブ)し魅力的なクラブを作っていくことで持続可能なクラブとなる。
- ☆ 炉辺会談は入会後初めてだったが、通常の例会時にはゆっくり話ができない会員とも交流ができ、クラブの絆を深めるとも良い事業と感じる。
- ☆ 良き緊張感がクラブの魅力を高めている。
- ☆ 他クラブを見ると、クラブの合併も考えざるを得ない状況もある。福井クラブだけが良い、という考えではなく、地域として価値を高めていく。
- ☆ 転勤者としては、地域に入りたいけれど入れない(入りにくい)垣根を払ってくれる柔らかさが必要。
- ☆ 福井クラブに加入して良かった。
- ☆ クラブメンバーに惹かれて人が増えている。今後も、積極的に会員を増やし、多様で魅力的な会員構成となることがクラブの価値を高める。
- ☆ コロナ禍で炉辺会談をどのような形で行うか(できるか)悩ましかったが、開催できて本当に良かった。このような交流こそが持続可能なクラブを作っていく大切な要素。
- ☆ 価値あるクラブ、格調高いクラブを作っていくことが大切であり、目の前ではホテルの建て替えが進んでいるが、地域一番のホテル会場での例会を開催することは重要である。
- ☆ コロナ禍の時期、当然にマイナスもあったが、色々なことを見直す良い機会と捉え、何を残すか、何を变えていくかクラブ内で機会を設けて議論していく。話を続けていくことが大切と考える。



ロータリー財団増進特別寄付金

荻原昭人・山岸恒一  
 わずかでも世界の役に立ちますように。(出雲路康照)  
 地区情報委員長 木村さんの卓話に感謝して。(北島 恬)  
 少しでもお役に立てれば。(辻橋清和)  
 テーブルが同じになりましたので。(長野 学)  
 淡島さん、福井新聞の「和力フェ」のオープン記事を拝見しました。最後の「当面、木曜日は営業を休む」との一文は福井ロータリーの会員を泣かせます。(野村直之)  
 次々週、もとの例会形式に戻るのが楽しみです。(宮崎茂和)  
 各君

寄付金の状況

	4月27日分	累計	目標
ニコニコ箱	27,000円	2,193,300円	3,000,000円
米山奨学金	18,000円	2,155,000円	2,544,000円
ロータリー財団	16,000円	3,528,240円	3,880,000円

ありがとうございました。



ROTARY CLUB of FUKUI



福井ロータリークラブ会報

R.I. District 2650 2022-2023 Weekly Bulletin  
 2023年5月11日 第2583号(創刊2739号)

《2022-2023年度 R.I. テーマ》



IMAGINE ROTARY

R.I.会長 R.I.第2650地区ガバナー  
 ジェニファー・ジョーンズ 尾賀 康裕

5月は「青少年奉仕月間」です。

クラブテーマ : 持続可能なロータリー(サステナブル ローターリー)～絆の再構築へ～  
 地区スローガン : 感動、感激、そして感謝

	理 事	監 事	役員補佐
会長	荻原 昭人	後藤 正邦	副幹事 角谷 恒彦
副会長	吉田 清二	増田喜一郎	監事 清水 則明
直前会長	山内鴻之祐	清水 盛伸	副会計 初瀬川達郎
幹事	中広 久	城戸 利枝	副会計 長谷川英一
会計	松田 将裕	渡辺 崇嗣	副会場監督 中山 浩成
会場監督	角谷 恒彦	ロータリー財団 村田 長隆	副会場監督 野路 純平

ー 多様化する若者たちや地元のニーズに応じて独自の青少年活動にエールをおくり感動、感激。ー

本日の例会

2023年5月11日 第3534回

今後の予定

12時30分 開会点鐘

会長挨拶  
 米山奨学金授与(謝 燕琴さん)  
 退会挨拶(竹村 浩和 会員)  
 栄誉行事

皆出席御祝 / 浅井 正勝(10年)  
 在籍御祝 / 吉田 清二(30年)、桑原慎 治(5年)  
 誕生日御祝 / 櫻田 貴美子、野尻 章博、山本 宝、増田 喜一郎、伊井 彌州雄、中山 浩 行、嘉屋 次郎、松田 将裕、竹原 和行、加藤 信一、森川 圭造、寺本 光宏、岩下 春幸

配偶者誕生日御祝 / 橋本 泰久、西澤 雄三、中広 久、中山 浩成、吉岡 正盛、大森 正男、増田 喜一郎、山野井 秀一、後藤 正邦、清水 正一、石橋 正人

結婚記念日御祝 / 木下 勝元、橋本 泰久、須賀原 和広、藤田 清彦、竹生 知子、油谷 啓司、木村 憲一、辻橋 清和、野村 直之、西澤 雄三、開発 毅、加藤 信一、伊藤 仁一郎、金井 伸一郎、林 正岳、細江 究、城戸 利枝

委員会報告・幹事報告・その他  
 外国人技能実習生交流事業報告(萬谷 光司 国際奉仕委員長)

13時30分 閉会点鐘

会長挨拶



2022-23年度 会長

荻原 昭人

学力とは何か?

今日は学力とは何かを考えてみたいと思います。学力って何でしょう?学力とは点数なのでしょう、偏差値なのでしょう、もし点数だとすれば、今、過去に受けた大学入試や高校入試を受けるとすれば、今の自分は何点取れるのでしょうか?もし、とれなかった場合は、過去の自分より学力は低いことになり、果たしてそれで学力が低いと言い切れるのでしょうか、大きな疑問が残ります。また、偏差値にしても、あくまでも予備校が決めている数値であり、その評価はただか5教科のみ、家庭、体育、芸術などの偏差値はありません。それで人間の全学力を判断できるのでしょうか?ちなみに偏差値で学力を評価しているのは世界でも日本ぐらいです。はたしてこれで正しい評価ができていますのでしょうか?これも甚だ疑問です。

では、点数や偏差値でないとすれば、学力とはいったい何でしょう。私が考える学力とは、「学び続ける力」です。時代が激変し、さらに活躍のステージが変わっていく中で、進化するために、成長するためには学び続けることが必要絶対条件となります。学び続けることができれば、時代を拓いていくことができ、大きなチャンスを得ることもできます。貪欲に学び続けることは大切です。では、次に学び続けるためには何が必要なのかを考えていきましょう。

学び続けるために何が必要なのか、結論は目的と目標です。とても単純で当たり前と思われそうですが、それでは「目的とは何か」、「目標とは何か」を部下に聞かれたときに、どのように説明しますか?結構、目的と目標は混同して使われがちです。ちなみに私の説明は、目的は「何のために」、目標は「目指すところ」と答えます。例えば、「〇〇大学に入るために、4月では偏差値50を、9月では偏差値55を、12月では偏差値60を目指す」となります。ただこれだと一見正しいように感じられませんが、何か違和感が残ります。それは大学に入学したらどうするのか、つまり何のために大学に入ったのかわかりません。そこでもう一度目的を設定し、その目的を達成するために目標を決めて歩み出す必要があります。これはこれで正解だと思いますが、何かまだしっくりきません。そこでもう少し深く目的について考えて見たいと思います。この続きは次回。

次回の例会

2023年5月18日(木)

■会場: サ・グランユアーズフクイ  
 ■会員卓話(柳町 剛弘 会員)

■開会点鐘: 12時30分  
 ■閉会点鐘: 13時30分

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号加藤ビル5階 TEL: 0776-25-0633 FAX: 0776-24-8622  
 例会場 サ・グランユアーズフクイ3F TEL: 0776-24-3200 例会 毎週木曜日12:30~13:30  
 クラブ会報委員会 委員長: 山野井 秀一 副委員長: 櫻田 貴美子  
 委員: 小谷 哲治、中島 良成、藤田 清彦、竹村 浩和、長野 学、金井 伸一郎、辻橋 清和、西岡 宏二郎、木村 佳美  
 ソングリーダー: 野尻 章博 サブリーダー: 長谷 美左子、谷崎 由美子、英 貴子、櫻田 貴美子、木村 佳美  
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com  
 創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)12月4日(承認 No.7647)

現在会員数

138名

**出席報告**

● 現在会員	138名
● 出席者	77名
● 欠席者	61名
● 出席免除者欠席	10名
● 今回例会出席率	60.2%

**例会修正出席率**

4月6日	
● メークアップ	34名
● 欠席者	27名
● 修正出席率	80.3%



例会報告

会員歴50年以上 記念品授与

2023年4月9日地区大会 本会議において会員歴(通算)50年以上の会員様のお名前がスクリーンにて発表され、尾賀康祐ガバナーより記念品が届きましたので荻原会長より記念品の授与が行われました。

- 菅原 将高パスト会長 (1969年6月12日ご入会)
- 宮崎 茂和パストガバナー (1972年6月8日ご入会)



幹事報告

幹事 中広 久



1. 次年度の組織表を配布しました。皆さま所属委員会をご確認ください。
2. 今年度・次年度の理事・委員長の方は4月14日、4月24日に事務局からご案内しました、今年度事業報告書、次年度の事業計画書を5月1日(月)までにご提出ください。また、5月25日例会終了後に、今年度・次年度の引継ぎ連絡会を開催いたします。欠席の場合は代理を立てていただきますようお願いいたします。
3. 次年度会員手帳の記載内容確認を書面でお配りしております。変更がある場合は5月16日までに事務局にご提出をお願いいたします。
4. 5月例会は11日が第一例会となります。コロナ前のスタイルに戻して開催いたします。食事の前に乾杯がございませぬ。積極的なご参加をお願いいたします。合わせて、マスクも解禁となりますので、自己判断をお願いいたします。友情の握手も復活いたします。各テーブルには除菌スプレーを用意しますが、気になる方はご自身でウェットティッシュ等をお持ちください。

委員会報告



キャリア教育推進委員会 加藤 有司 委員長

5月22日(月)午後には啓新高校の教職員さまを対象としたキャリア教育プログラムを福井銀行の本店にて開催する事が決まりました。

当日は2部構成となっております、1部は教職員様に職場見学をしていただく予定となっております。

2部は教職員様とロータリーメンバーを混合したグループディスカッションを行う予定です。

当日は社員教育や人材育成をテーマとしたグループディスカッションの予定です。奮ってご参加をいただきますようお願いいたします。

炉辺会談 テーマ「持続可能な組織運営の構築」(今年度荻原会長方針)

【開催日時】 2023年3月16日(木) 18:00～ 【開催場所】 たて涌

【参加者】 (座長) 佐々木知也(世話役) 伊井 彌州雄  
油谷 啓司、高木 義秀、清水 嗣能、渡邊 義信、長野 学、竹澤 文孝、城戸 利枝、後藤 正邦、白江 文夫 計11名

- ☆ ロータリーが「明るく 楽しく 役に立つ」組織であるために各々が役割にコミットすることが大切。
- ☆ 推薦者がチューター的な役割を維持して後輩ロータリアンにアドバイスを継続
- ☆ 多くの委員会を経験し委員会活動を通じて仲間を増やす
- ☆ 炉辺会談など例会以外の活動にも積極参加
- ☆ 自分だけでなく他の会員や家族がロータリーを楽しめるよう努める
- ☆ 入会3年目以降を目途に全員に副委員長以上の役職を経験させる内規を作る
- ☆ ロータリーを好きになることが基本
- ☆ 不易流行、伝統を重んじつつ革新にチャレンジ
- ☆ 奉仕の理想を持ち4つのテストに従って行動
- ☆ ロータリーの価値、ミッション、ビジョンを明確に理解する
- ☆ 超私の奉仕を忘れずにロータリー活動
- ☆ コロナ過で毀損したロータリー活動の基本スタイルを修復



その他多くの会員から福井ロータリークラブはもっと紙の消費量を減らすべきとの意見がありました。

地区委員卓話



地区ロータリー情報委員会 木村 憲一 委員長

【ロータリー情報委員会の変遷】

ロータリー情報委員会は、1993-94年度頃に発足した委員会(以前はロータリー教育委員会という名前)当初は、規定審議会から分かれたような形でスタート。

新会員に対するインフォメーションを、各クラブにきちんとしていただくという主旨で始まる。新会員に対するロータリーの正しい理解と教育が非常に大事。

1998-99年度からは、各クラブインフォメーションの地域間の差をなくすため、「ロータリー情報委員長協議会」をクラブ創立順に4班(後に3班、さらに2班、最後は地区全体で)に分けて開催し、意見交換。

2000-01年度から、地区大会における新会員セミナーも行われるようになった。

2006-07年度から、IMで「ロータリー情報委員長連絡会」が行われる。

2011-12年度から、IMでの「ロータリー情報委員長連絡会」が、3委員会(会員増強・拡大、広報・雑誌、ロータリー情報)合同で行われる。

2013-14年度から今日まで、IM単位での新会員セミナー(1年未満)と、地区大会で新会員セミナー(3年未満)が行われる。(2017-18年度には、ロータリー情報委員長連絡会も開催された)

今年度2022-23年度から、IM単位での新会員セミナー(1年未満)と、地区大会で新会員セミナー(3年未満)に加えて、各クラブの情報委員長を集めたロータリー情報委員長連絡会も開催。(2023年6月予定)

このように、当初この委員会は、各クラブの情報委員長を集めた連絡協議会からスタートし、2000年頃から地区大会で新会員セミナーも開催されるようになり、2013年頃からは、地区大会とIM時に新会員セミナーが開催されるようになりました。今年度からは、新会員セミナーと連絡協議会が両方開催されるようになっています。

【国際ロータリー第2650地区 2023-24年度IM組織&予定(案)】

第6組 福井県 新会員 10時～  
2023年10月～12月(未定)  
開催場所: 学校法人金井学園

【良いクラブとは出席率の良いクラブ】

「ポール・ハリスの言葉」

Rotary could not put its important objectives into effect without a high average attendance. The best clubs are those which stand best in attendance.

ロータリー・クラブは平均出席率が高くないと、その重要な目的を達成することが出来ない。最良のクラブとは最高の出席率を保持するクラブである。

ロータリー・クラブというのは、親睦一知り合いを広め相互理解を深める、ということ骨格としてそれに奉仕の肉付けをし、情報という血液の循環を良くして、奉仕の人を育てる場所なのである。そうだとすれば、出席無くして親睦も無ければ、情報の血を受けることも無いではないか。そして当然奉仕の肉付けもお粗末になる、という結果は眼に見えている。だから「出席」は目的ではない。然し目的を達する最重要の手段である、ということになる。出席率という数字だけ高くても、それだけで必ずしも優秀なロータリアンだとは言えない。然し優秀なロータリアンは必ず出席率が抜き出で高い。

そこで、次の様な推論が成立する。特定の個人を浮かべて、ただ出席率だけでその人の優劣を判断できない。然しロータリー・クラブという組織を比較してみると、クラブの目的から言って明らかに出席率が判定の重要な尺度になる。



ビジター受付

- 5月31日(水) 福井北 12:00～12:30  
ザ・グランユアーズフクイ 1F  
大手町カフェ前
- 6月21日(水) 福井北 12:00～12:30  
ザ・グランユアーズフクイ 1F  
大手町カフェ前